

健康寿命延伸見える化カルテ活用事例集（平成 30 年度）

<活用事例①>

カルテを作成した市町村	雲南市、飯南町、奥出雲町 (※奥出雲町は H29 に作成したものを活用)												
カルテを用いた検討の経過	<p>雲南圏域における地域職域連携事業においては、平成 29 年度から市町ごとに各市町商工会、市町健康づくり担当課、保健所の三者で健康づくりに関する地域の現状や課題等の共有を図り、各市町の状況に合わせた今後の具体的な対策を検討するため、連絡会を開催してきた。</p> <p>今年度も圏域における働き盛り世代の現状と課題について共有し、圏域地域職域推進事業の方向性や具体案について検討するため下記のとおり会議を開催した。</p> <table border="1" data-bbox="624 904 1315 1256"> <thead> <tr> <th>日 時</th> <th>場 所</th> <th>参加者</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>7 月 17 日 (火)</td> <td>奥出雲町</td> <td>商工会 町担当者、保健所担当者</td> </tr> <tr> <td>7 月 20 日 (金)</td> <td>飯南町</td> <td>商工会 町担当者、保健所担当者</td> </tr> <tr> <td>7 月 30 日 (月)</td> <td>雲南市</td> <td>商工会 市担当者、保健所担当者</td> </tr> </tbody> </table> <p>会議にあたり、地域ごとの健康課題の共有資料として各市町見える化カルテを所内で作成し、意見交換の資料として活用した。</p>	日 時	場 所	参加者	7 月 17 日 (火)	奥出雲町	商工会 町担当者、保健所担当者	7 月 20 日 (金)	飯南町	商工会 町担当者、保健所担当者	7 月 30 日 (月)	雲南市	商工会 市担当者、保健所担当者
日 時	場 所	参加者											
7 月 17 日 (火)	奥出雲町	商工会 町担当者、保健所担当者											
7 月 20 日 (金)	飯南町	商工会 町担当者、保健所担当者											
7 月 30 日 (月)	雲南市	商工会 市担当者、保健所担当者											
カルテの成果等	見える化カルテを活用したことにより、課題の共有を深めることができた。これにより地域職域連携事業の取組検討に際しても、より主体的な意見・提案を職域担当者（商工会）から得ることができた。												
今後に向けて	<p>特定健診（国保）受診率が低い雲南圏域においては、現在の国保特定健診結果のみで市町の課題を掘り下げるのが難しい。</p> <p>その他の保険者データもあわせたデータを得ることにより男女別、年代別の課題分析や見える化を進め、活用を進めていきたい。</p>												

<活用事例②>

カルテを作成した市町村	浜田市(H29)、江津市(H30)
カルテを用いた検討の経過	<ul style="list-style-type: none"> •H30.9/27 浜田市へカルテの説明、検討を実施。 塩分に関する項目について要望があったため、BDHQ(簡易型自記式食事歴法質問票)調査について情報提供。また、キャッチフレーズについても市の事業(はまだ健康チャレンジ)と合わせて検討することが必要であることを確認した。 •H30.11/12 江津市へカルテの説明、検討および取組状況について意見交換を実施。 脂質異常症有病者率や重複疾患について意見あり。また、生活習慣について全県調査の要望があったため、BDHQ 調査について情報提供した。
カルテの成果等	<p>カルテをもとに市の現状を確認・共有することができた。</p> <p>浜田市においては、市内部での勉強会で活用されたり、国保診療所の医師等と協議をするきっかけにもなっている。また、カルテを活用した協議の結果だけではないと思うが、平成31年度、浜田市においてBDHQ調査を実施し、住民の食生活等の実態把握をされる予定である。</p> <p>江津市においては検討の場に国保担当課職員も出席し、カルテをもとに現状や課題について横断的に情報共有することができた。</p>
今後に向けて	<p>市の課題等に応じたデータや、介護予防としての評価との関連性から日常生活圏域(可能であれば)における課題の明確化等、県健康福祉部データ活用 PT 等での議論の中でより市で活用しやすい形を検討し、活用を進める。</p>

<活用事例③>

カルテを作成した市町村	海士町、西ノ島町
カルテを用いた検討の経過	<p>○H29年度 西ノ島町のカルテを作成。</p> <ul style="list-style-type: none">・町との保健事業検討会でカルテを提示し、西ノ島町の健康課題の共有、次年度の重点事業の検討を行った。 <p>○H30年度 海士町・西ノ島町のカルテを作成。</p> <ul style="list-style-type: none">・隠岐圏域がん予防・脳卒中对策担当者連絡会（参加者：管内各町村役場担当保健師、保健所）にてカルテを提示し、カルテの周知、項目についての意見を収集した。・所内業務検討会にカルテを提示し、カルテの活用方法やより分析を深めた方がよい点、追加資料が必要なもの等検討した。・町村との保健事業検討会でカルテを提示し、健康課題の共有、次年度の重点事業について検討した。
カルテの成果等	各町村の課題整理を行うツールとなり、市町村と保健所とで保健事業の検討、整理を行うきっかけとなった。
今後に向けて	特定健診受診率が低い市町村だと、市町村が有する特定健診のデータのみで示しても市町村の課題が明確になりにくい。県が有する平均寿命等データや国保以外のデータ等様々なデータを活用しながら分析を深める必要がある。町村の課題に応じて詳しいデータ分析を行いながら、保健事業に活用できるよう、カルテ活用を進めていきたい。